

パネルディスカッション(大阪府)

～ジェネリック医薬品シェア80%達成に向けた課題と解決策～

日 時	平成30年9月2日(日) 12:30～15:00
入 場	無料
場 所	大阪国際交流センター 大阪市天王寺区上本町8-2-6

プログラム



12:30～12:45

開 会

共催者挨拶 厚生労働省医政局経済課長 三浦 明



12:45～15:00

パネルディスカッション

出演

- 座長 永田 泰造 先生 (公益社団法人日本薬剤師会 常務理事)
- パネリスト 武本 優次 先生 (医療法人順興会 上條診療所 所長)
藤垣 哲彦 先生 (一般社団法人大阪府薬剤師会 会長)
但馬 重俊 先生 (NTT西日本大阪病院 薬剤部長)
小村 俊一 先生 (全国健康保険協会大阪支部 支部長)



永田 泰造 先生



武本 優次 先生



藤垣 哲彦 先生



但馬 重俊 先生



小村 俊一 先生

概要

大阪府の医療費は東京都に次ぎ、大阪・東京の2地域で全国の18%強を占めます。このような大都市部での取組は全国への波及効果も大きいものがあります。このため、大阪府の医師・歯科医師・薬剤師の先生方、行政担当者の方、並びに府民の方を対象にジェネリック医薬品の使用促進へ向けたパネルディスカッション開催し、医師・歯科医師16名、薬剤師127名を含む209名の方にご参加いただきました。また、併設された「ジェネリック医薬品質問コーナー」もご利用いただきました。



※本パネルディスカッションの様子は、読売新聞において採録記事広告として、掲載を予定しております。